

復興・発展への歩み

あの東日本大震災と原発事故から、5年が過ぎようとしています。

震災と原子力災害によって、田村市は新たな多くの課題を背負いましたが、全国各地からの多くの励みや支援と、市民の皆様のご協力・ご尽力のおかげで、力強く復興への道を歩み始めることができました。

そして今、市は、復興からさらなる発展へと向かうためのまちづくりを進めているところです。

前へと歩んでいく時、後には足あとが残されます。たまには後ろを振り返り、残された足あとと歩んできた道を見つめることも必要ではないでしょうか。

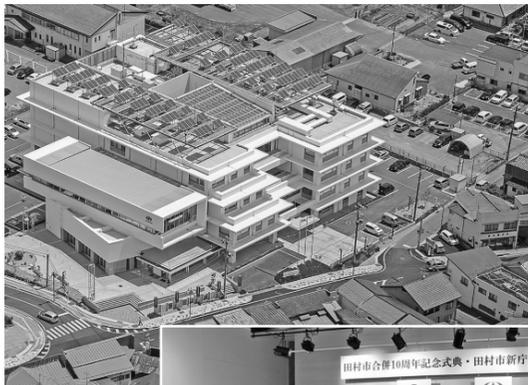
この5年間の主な歩みを振り返ってみましょう。手を取って支えてくれた全ての人に感謝しながら。



▲都路こども園が地元で再開 (H26.4.9)



▲都路町商業施設「Domo」オープン (H26.4.6)



▲市役所新庁舎で業務開始 (H27.1.5)



▲市合併10周年記念式典 (H27.3.1)

▼米全量全袋検査を開始 (H24.9.20)



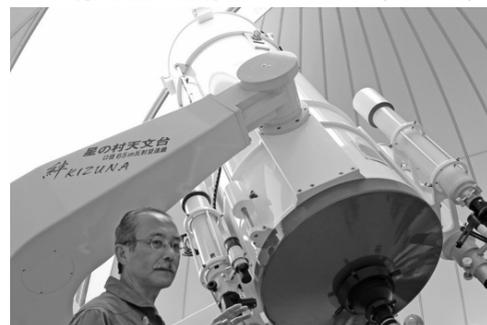
▼NHK歌おう！東北のど自慢 (H23.6.19)



▼天皇・皇后両陛下が常葉にお立ち寄り (H24.10.13)



▼星の村天文台望遠鏡がリニューアル (H24.7.1)



地域創生総合戦略に基づき 発展に向けた事業を本格化
市は今年1月、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「田村市人口ビジョン・田村地域創生総合戦略」を策定しました。「産業振興」「定住・雇用」「子育て・少子化」を3本の柱に、計28施策を実施していく計画です。
平成28年度からは、市のさらなる発展に向けて、これらの事業を本格的に進めていきます。

「地域創生」事業

戦略の柱	主な事業
産業振興	産業団地整備事業
	空き店舗活用支援事業
	特産品PR事業
	6次化推進事業
	グリーン・ツーリズム活性化事業
定住・雇用	空き家・空き地情報バンク構築
	転入者、子育て世帯やUターン者の定住化促進事業
	新規就農者支援拡大・自立促進事業
	生涯学習等複合施設整備事業
	協働のまちづくり支援事業
子育て・少子化	出会いの場創出事業
	妊娠・出産サポート事業
	不妊治療助成事業
	出生奨励事業
	田村っ子元気増進事業
	時間外子ども預かり事業

被災3県市長会からのメッセージ

震災から5年の節目を迎えて、復興へと歩んでいく福島県・岩手県・宮城県各市長会から、全国に発信しているメッセージが届きました。各県の主な観光・物産とあわせて紹介します。

福島県市長会

福島県の市町村は、今日も、東日本大震災からの復興に全力で取り組んでいます。私たち福島県民にとって何よりうれしいのは、全国の皆さんに今の「がんばる福島県」を素直に観て、

食べて、飲んで、買って、ふれあって、笑顔の輪を広げていただくことです。これまでのご支援に心より感謝申し上げますとともに、変わらぬ応援をよろしくお願いします。

福島県市長会長

相馬市長 立谷秀清



▲野馬追 (相馬市・南相馬市)



▲福島県特産の桃



▲あぶくま洞 (田村市)



▲三春滝桜 (三春町)

岩手県市長会

東日本大震災津波からの復興にあたっては、全国の皆様から多くのご支援と励ましを賜り、心から感謝申し上げます。

岩手県では、平成28年に復興の架け橋として「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を開催します。全国の皆様に、ご来県いただき、岩手の魅力を知って、買って、食べていただくことが、復興の大きな力となります。

今後とも、岩手の復興への歩みと地域活性化に応援をお願いいたします。

岩手県市長会長

盛岡市長 谷藤裕明



▲三陸鉄道 (岩手県太平洋沿岸) と岩手県特産のワカメ

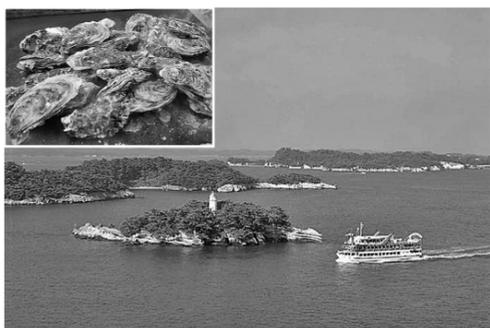
宮城県市長会

東日本大震災に係り、全国の皆様から温かいご支援を賜り感謝申し上げます。ご支援により復興しつつある宮城県内各地に足をお運びいただき、是非とも豊富な食材や自然、温泉、歴史など各市の魅力を活分に楽しんでいただきたいと思っております。

皆様に安心して旅を楽しんでいただけるようおもてなしをすることが、更なる復興の励みとなりますので、今後も応援をお願いいたします。

宮城県市長会長

仙台市長 奥山恵美子



▲松島四大観 (松島町・東松島市・七ヶ浜町) と宮城県特産の力キ